

CASBEE_Sapporo2014v1.0
(仮称)ロイヤルパークスER札幌

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		基本設計段階			重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									
Q1 室内環境									
1 音環境									
1.1 騒音					3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.2 遮音					3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能					3.0	0.96	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					3.0	0.04	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					3.0	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境									
2.1 室温制御					3.1	0.35	3.0	1.00	3.0
1 室温				W	3.3	0.50	3.0	0.50	
2 外皮性能					3.0	0.38	3.0	0.57	
3 ソーン別制御性					3.0	0.25	3.0	0.43	
2.2 湿度制御					4.0	0.37	-	-	
2.3 空調方式					3.0	0.20	3.0	0.20	
客室については冷暖同時の機種を採用している。									
3 光・視環境									
3.1 昼光利用					3.0	0.25	3.0	1.00	3.0
1 昼光率					3.0	0.33	3.0	0.30	
2 方位別開口					3.0	0.57	3.0	0.60	
3 昼光利用設備				W	-	-	-	-	
3.2 グレア対策					3.0	0.43	3.0	0.40	
1 昼光制御				W	3.0	0.28	3.0	0.30	
3.3 照度					3.0	1.00	3.0	1.00	
3.4 照明制御					3.0	0.14	3.0	0.15	
4 空気質環境									
4.1 発生源対策					3.0	0.25	3.1	1.00	3.1
1 化学汚染物質					3.0	0.50	3.0	0.63	
2 発塵対策					3.0	1.00	3.0	1.00	
4.2 換気					-	-	-	-	
1 換気量					3.4	0.30	3.3	0.38	
2 自然換気性能					3.0	0.49	3.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					3.0	0.02	3.0	0.33	
4.3 運用管理					4.0	0.49	4.0	0.33	
1 CO ₂ の監視					3.0	0.20	-	-	
2 喫煙の制御					3.0	0.06	-	-	
外気取入れガラリと排気ガラリは6m以上離している。									
Q2 サービス性能									
1 機能性									
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	3.0	1.00	3.0
1 広さ・収納性					3.0	0.40	3.0	0.60	
2 高度情報通信設備対応					3.0	0.02	3.0	0.50	
3 バリアフリー計画					3.0	0.02	3.0	0.50	
1.2 心理性・快適性					3.0	0.96	-	-	
1 広さ感・景観					3.0	0.30	3.0	0.40	
2 リフレッシュスペース					3.0	0.05	3.0	0.50	
3 内装計画					3.0	0.03	-	-	
1.3 維持管理					3.0	0.93	3.0	0.50	
1 維持管理に配慮した設計					3.0	0.30	-	-	
2 維持管理用機能の確保					3.0	0.50	-	-	
3 維持管理業務					-	-	-	-	
2 耐用性・信頼性									
2.1 耐震・免震					2.8	0.30	-	-	2.8
1 耐震性					3.0	0.50	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.80	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					2.7	0.30	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				W	3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				W	2.0	0.20	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				W	2.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				W	3.0	0.10	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔				W	3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					2.6	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					3.0	0.20	-	-	
3 電気設備					2.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					4.0	0.20	-	-	
機器・配管の支持を全て耐震クラスAとしている。									
3 対応性・更新性									
3.1 空間のゆとり					3.0	0.30	2.7	1.00	2.8
1 階高のゆとり					3.0	0.04	2.4	0.50	
2 空間の形状・自由さ					3.0	0.60	2.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.40	3.0	0.40	
3.3 設備の更新性					3.0	0.04	3.0	0.50	
1 空調配管の更新性					3.0	0.93	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.20	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.10	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	

CASBEE_Sapporo2014v1.0
 (仮称)ロイヤルパークスER札幌

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.0
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.1)

スコアシート		基本設計段階			重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				
配慮項目	重点評価項目			建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体	
	W	G	S	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
環境配慮設計の概要記入欄									
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.31	-	-	2.2	
1 生物環境の保全と創出		G		1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮		G		3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30	-	-	2.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S	3.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		2.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.2	
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.5	
1 建物外皮の熱負荷抑制	W			外皮に断熱材を採用し、窓部は省エネルギー性の高い複層ガラスを採用	5.0	0.19	-	5.0	
2 自然エネルギー利用	W				3.0	0.10	-	3.0	
3 設備システムの高効率化				BEI 非住宅 - 住宅(専有部) -	3.4	0.51	-	3.4	
集合住宅以外の評価(3a,3b)	W			高効率な設備機器を採用しています。	3.4	1.00	-		
集合住宅の評価(3c)	W				-	-	-		
4 効率的運用					3.0	0.20	-	3.0	
集合住宅以外の評価					3.0	1.00	-		
4.1 モニタリング	W				3.0	0.50	-		
4.2 運用管理体制	W				3.0	0.50	-		
集合住宅の評価					-	-	-		
4.1 モニタリング	W				3.0	-	-		
4.2 運用管理体制	W				3.0	-	-		
LR2 資源・マテリアル					0.30	-	-	3.1	
1 水資源保護					3.4	0.20	-	3.4	
1.1 節水				衛生器具は節水型の採用、擬音装置の設置を行っている。	4.0	0.40	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60	-		
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30	-		
2 非再生性資源の使用量削減					3.1	0.60	-	3.1	
2.1 材料使用量の削減	W			コンクリート基準強度Fc=60以上、かつ主筋鉄筋の基準強度F=490以	4.0	0.11	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用	W				3.0	0.22	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	W				3.0	0.22	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	W				1.0	0.22	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材	W				-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	W			躯体+軽鉄+仕上材で分別が容易。	5.0	0.22	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.2	0.20	-	3.2	
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30	-		
3.2 フロン・ハロンの回避					3.3	0.70	-		
1 消火剤	W			CO2消火を機械式駐車場に入れている。	4.0	0.33	-		
2 発泡剤(断熱材等)	W				3.0	0.33	-		
3 冷媒	W				3.0	0.33	-		
LR3 敷地外環境					0.30	-	-	2.8	
1 地球温暖化への配慮				大気汚防止法に該当する燃焼機器は無い。	3.1	0.33	-	3.1	
2 地域環境への配慮					2.5	0.33	-	2.5	
2.1 大気汚染防止	W				3.0	0.25	-		
2.2 温熱環境悪化の改善	W	G	S		2.0	0.50	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制					3.0	0.25	-		
1 雨水排水負荷低減	W				3.0	0.25	-		
2 汚水処理負荷抑制	W				3.0	0.25	-		
3 交通負荷抑制					3.0	0.25	-		
4 廃棄物処理負荷抑制	W		S		3.0	0.25	-		
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	3.0	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40	-		
1 騒音					3.0	0.50	-		
2 振動					-	-	-		
3 悪臭					3.0	0.50	-		
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制					3.0	0.40	-		
1 風害の抑制					3.0	0.70	-		
2 砂塵の抑制					3.0	-	-		
3 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-		
3.3 光害の抑制					3.0	0.20	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70	-		
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30	-		